PCR 等検査無料化事業について

「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」(令和3年11月12日新型コロナウイルス感染症対策本部決定)において、日常生活や経済社会活動における感染リスクを引き下げるため、ワクチン接種や検査による確認を促進することが有効であるとされています。また、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」(令和3年11月19日閣議決定)において、経済社会活動を行う際の検査を予約不要・無料とし、感染拡大傾向時には、都道府県の判断により、検査を無料とできるよう、支援を行うこととされました。

これらを踏まえ、下記の事業を予定しておりますところ、会員企業への周知をお願いいたします。 ※本事務連絡は、今後国会において審議される令和3年度補正予算案に基づくものです。現時点 では政府案を前提とした準備行為であり、今後変更があり得ることにご留意ください。

記

PCR等検査無料化事業については、次の2事業を予定しています。「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業」においては、健康上の理由等によりワクチン接種を受けられない者を対象に、社会経済活動を行う際のPCR・抗原定性等検査を来年3月末まで予約不要、無料とし、ワクチン・検査パッケージ等の定着を図ります。また、「感染拡大傾向時の一般検査事業」においては、感染拡大の傾向が見られる場合に、都道府県の判断により、ワクチン接種者を含め感染の不安がある無症状者に対し、検査を無料とする予定です。本事業においては、医療機関、衛生検査所等のほか、主に薬局やワクチン・検査パッケージ等の事業者といった店舗・拠点において無料検査を受けられることとしています。

年内の事業開始を見込んでいる「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業」においては、行動制限の緩和策としてのワクチン・検査パッケージ制度だけでなく、民間が自主的に行う、ワクチン接種証明又は陰性検査結果を確認する取組に必要な検査についても無料化の対象とします。具体的には、飲食店の利用やイベントの参加の要件とする場合や、これらの確認を受けた方に追加的なサービスや値引き等を行うための検査も対象となります。

<関係資料>

別紙1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「検査促進枠」の創設について

別紙 2 PCR 等検査無料化(案)

令和3年度補正予算

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「検査促進枠」の創設について【予算額:3,200億円】

法24条9項等| に基づく要請

- 感染対策と日常生活の両立を図る手段として、「ワクチン・検査パッケージ」等の利用を促し、検査の受検 を浸透させるため、健康上の理由等によりワクチン接種が出来ない者の検査を無料化。
- 感染拡大の傾向が見られる場合には、都道府県知事の判断により、自己の意思に基づく未接種者、ワクチン 接種者を含め、幅広く感染不安などの理由による検査を無料化。

感染拡大傾向時の一般検査事業 ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業 (検査対象・方法) (検査対象・方法) ○健康上の理由等でワクチン接種を受けられない者が、 ○左記に加え、都道府県知事が、特措法24条9項等に基づき 「ワクチン・検査パッケージ制度」及び民間にて自主 「不安に感じる無症状者は、検査を受ける」ことを要請 的に行うワクチン・検査のため必要となる検査を無料 した場合、これに応じて住民が受検する検査を無料化 化 ○検査は薬局・民間検査機関等において原則対面 ○検査は薬局・民間検査機関等において原則 で実施 対面で実施 実施事業者 4補助金等 無料検査を実施 ③感染状況報告 都道府県 ①検査申込 飲食店等 ②無料検査提供 陽性者の早期発 住民 見・早期治療 薬局 (国の交付金を財源に都道府県が費用を補助) 無料検査を実施 機関 感染不安等

感染拡大時には、検査のネットワーク

を活用して対象者を大幅に拡大

ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業については**令和3年度内**に限り支援。

PCR等検査無料化(案)

- 健康上の理由等でワクチン接種を受けられない者が、「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要となるPCR等検査を無料化(下図点線枠囲)。
- 感染拡大の傾向が見られる場合は、都道府県知事の判断により、自己の意思に基づく未接種者、ワクチン接種者を含め、検査を無料化(下図黄色部分)。
- 検査は薬局・民間検査機関等において原則対面で実施。国の交付金を財源に都道府県が費用 を補助。

